

# INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市狐島4 2 8 8 番地 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：小川秋實 副会長：唐澤敏治 幹事：小向誠一



## 2014-2015 国際ロータリーのテーマ ロータリーに輝きを

Light up Rotary

2014-2015 RI会長  
ゲイリー・C.K.ホアン  
台湾台北



第1296回 例会 平成 27年1月20日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 伊那市の歌 馬場秀則ソングリーダー

■ ゲスト・ビジター紹介 支援留学生 沈昱東さん

■ 会長談話 小川秋實会長



1月7日 パリの週刊誌・シャルリー・エブドで銃撃、17人死亡。イスラームの預言者ムハンマドの風刺画を掲載したことに対する「イスラーム過激派」による報復テロでした。欧米の一部にイスラーム排斥の動きが出たため、フランス・オランダ大統領は、テロとイスラームは無関係と発表しました。

イスラーム教徒は現在17億人。世界人口の23%。2/3がアジア、1/3がアフリカにいます。キリスト教徒が世界人口の33%で、最も多く、次いでイスラーム教徒です。イスラームは、唯一神アッラーのみを信仰し、偶像崇拜を禁じ、戒律・教義を厳格に守ります。人間の平等を尊重し、来世の存在を信じ、敬虔な信仰生活を真面目に送ることによって死後に神の国へ入れると信じています。

預言者ムハンマドは、7世紀、アラビア半島で生まれ、40歳で突然神の啓示を受け、預言者を名乗りました。預言者とは、未来を予言する者ではなく、「神の言葉を預けられた者」の意味です。ムハンマドは、国家をつくり、法律をつくり、戦争までしました。神からムハンマドに下った啓示がコーラン(クルアーン)です。コーランは、アラビア語で覚えるのが規則です。アラビア語は音として聴いたときに豊かなイマジネーションを喚起するといえます。

コーランの教えとムハンマドの言行に基づく法に、イスラーム教徒が守るべき義務が示されています。すなわち、メッカに向かって1日5回礼拝。1年に1か月間、日の出前から日没まで断食(ラマダーン)。貧困者を救済するために寄付(喜捨)。酒・豚肉の摂取は禁止。などなど。イスラーム銀行は、コーランが利子を禁じているため、「無利子金融」で運営されています。銀行は事業を目論む者と共同で事業を立ち上げ、事業に資金を投資し、経営に深く関わって利潤を上げています。

イスラーム法は1,000年以上も運用されてきました。そのためか、現在でも窃盗の罪で手を切り落とす刑罰が行われている国があったり、また、女子の就学制限など、イスラーム法に基づかない慣習が残っている国もあって、国際社会から人権侵害と糾弾されるところがあります。

フランスにおける表現の自由、政教分離の思想は、流血革命で勝ち取ったもので、断固として譲ることができないものです。信仰も思想の一つに過ぎないので、風刺は許されるとしています。ただし、人種差別、暴力の挑発は法で禁じられています。他方、イスラーム教徒にとって、預言者ムハンマドが風刺されるのは許しがたいことでしょう。フランスのシラク元大統領は、「信仰心を傷つける言動は慎みたい。表現の自由には責任と寛容が

欠かせない」と述べていますが、妥当な考えだと思います。

## ■ ニコニコボックス

◆小川秋實

インフルエンザが蔓延しています。気をつけましょう。

◆清水吉治

2月8日(日) Pm 2:00～“いなっせ”にてフルートの演奏会を行います。今年は皆さんが良く耳にするメロディーばかりです。是非お出かけ下さい。入場券は申し出ただけであればお渡しできます。

(発表 唐澤千明委員)

## ■ 幹事報告

小向誠一幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



## ■ 委員会報告

・「ロータリーの友」1月号紹介 雑誌担当 市川満貞委員



横組みの16頁に、創始者ポール・ハリスの著書「抜粋 ロータリーへの私の道」の内容が紹介されています。右側の中段に「会員選考でロータリーに選ばれた事業の経営者は・・・」とあり大変お褒めを戴いておりますが、一生懸命事業に精を出すことが奉仕であると言われると大変励みになります。

縦組みの4ページからは、智辯学園和歌山の野球部監督の高嶋仁氏の寄稿が掲載されています。4ページの下段には、生徒を指導することによって自分も試されている。

生徒のおかげで自分も成長できるという事を書かれています。

奈良の智辯学園から和歌山の智辯へ転勤になったものの、その当時の野球部は1勝もできず、キャッチボールもまともにできない初心者の集まりだったとあります。そんな野球部をベスト4まで引き上げ、テレビで放映されることで素質のある新入生を集め、わずか6年後に甲子園初出場を果たしました。以降、42年間で34回も甲子園に出場し、春の大会で1回、夏の大会で2回の全国優勝を達成しました。氏は優勝するには3つの要素が必要だと説いています。1つは実力、2つ目はクジ運、3つ目は勢い、ものすごく集中すると、今まで想像できなかったような自己ベストのプレーが大舞台の本番でできてしまうという事だと思います。最後に、昼間は校長室に飾られている優勝旗が、夜は銀行の金庫に保管されるそうです。なにせ1000万もするそうです。

## ■ 出席報告

会員数34名 出席免除会員8名 長欠会員2名 本日出席者20名 事前メイク3名  
出席率79.31% 前回出席率 修正なし (発表 唐澤千明委員)

## ■ クラブフォーラム

「ロータリー情報の提供」 矢野昌史ロータリー情報委員



ポリオの無い世界まで「あと少し」

ロータリークラブの国際的な活動の1つにポリオ撲滅運動があります。ポリオとは小児麻痺と呼ばれ、からだの自由を奪われる病気です。

国際ロータリーでは30年以上にわたり、この恐ろしい病気から子供を守る運動に取り組んできています。その成果が出てインドにおいては2011年1月13日を最後にポリオの発症はありません。ポリオの常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3ヶ国を残すだけとなりました。

これまでにロータリーでは12億ドル以上の貢献をしてきましたが、「あと少し」というところまで来て資金不足となり深刻な問題になっております。そのために日本でも様々な方法で募金活動を行っているクラブがあります。例えば、揃いのユニホームで「ポリオ撲滅」を訴え募金を募ったり、地域の祭りを利用して募

金活動をしたり、ロータリー財団学友会ではポリオ撲滅コンサートで、またあるロータリーでは支援バザーなどを行うなど様々な方法で募金活動を行っております。

1988GPEIが発足した当時、ポリオで命を落としたり手足が不自由になった子供が年間35万人いましたが、2013年には99.9パーセントまで減少し、現在では残りの0.1パーセント(406件)を残すのみとなりました。撲滅まで「あと少し」のところまで来ています。

## ■ フリートーク

会 長： 奉仕プロジェクトを企画するために、地域のニーズついて意見はないか。アンケートをする方法もあるのではないか。

A会員： 伊那剣心館への補助がなくなったので、それに代わるものを考えたい。

B会員： 伊那市がやっている新山の希少動物保護活動を支援するのはどうか。

C会員： 信濃グランセローズの試合が伊那である。希望する子供に試合見学させるのはどうか。

## ■ 点 鐘 13:30

次回例会

1月27日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店

卓話

例会終了後 理事会